

共同利用施設の再編集約・合理化に関する事例【穀物、近畿農政局】

滋賀県 北びわこ農業協同組合（新基本計画実装・農業構造転換支援事業：R7～R9）

- 老朽化した共同乾燥調製施設を4施設から3施設に再編集約するとともに処理能力等の機能向上を図る。
- 再編集約により安定した施設運営を継続するとともに、持続的な産地振興と高温耐性品種の作付拡大により、米の品質向上を目指す。

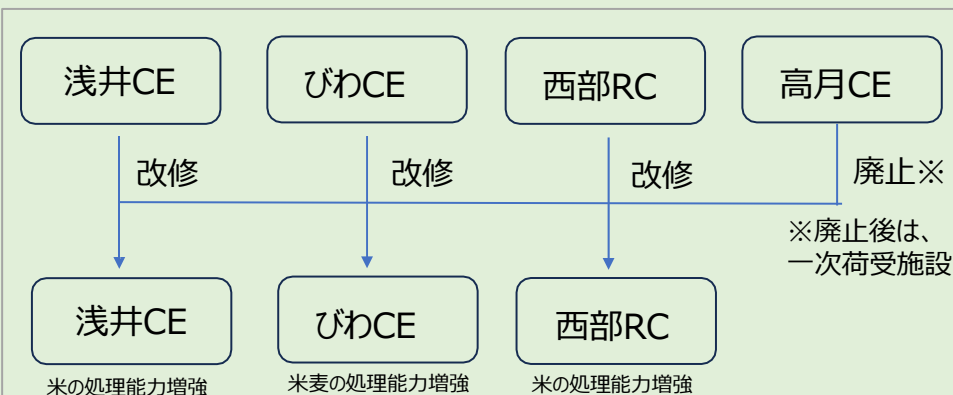
現状・課題並びに再編集約等の内容

【産地の現状・課題】

- 既存施設は整備から**30年以上経過**し、**老朽化**が大きな課題。
一方で生産者の利用希望に応えるためには、**処理能力をこれ以上落とせない**という課題も抱えている。

【再編集約の内容】

- 共同乾燥調製施設を1施設廃止し、**4施設から3施設へ再編集約**を行う。
- 老朽化した3施設について、**機能向上や必要な改修**を図り**効率的な事業運営を実現**する。



再編集約・合理化等で期待される効果

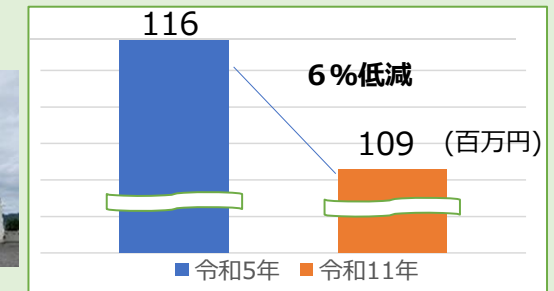
- 共同乾燥調製施設の老朽化を改善し、安定した施設運営を継続するとともに、持続的な産地振興と高温耐性品種の作付拡大により、**米の品質向上を目指す**。
- 共同乾燥調製施設の運営面において、**減少傾向にある職員の負担軽減や運営コストの低減**の効果が期待できる。



びわCE



高月CE



【運営コストの低減】

他産地へのメッセージ

- 当JAの水田面積は5,561ha（令和6年度）で認定農業者のシェア率は79.3%です。**共同乾燥調製施設は地域農業を維持するために必要な設備**であり、認定農業者を始め、中小規模農家や集落営農組織の利用継続を維持するため、再編集約、設備投資を実施し**持続可能な共同乾燥調製施設の運営を目指す**。